

平成三十年度

富山大学人文学部 一般入試（後期日程）

入学試験問題

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この試験問題を開かないこと。
- 2 試験問題は表紙を含め二枚、解答用紙は二枚、下書き用紙は一枚（両面）である。
試験開始の合図があつてから確認すること。
なお、試験問題に文字などの印刷不鮮明、落丁・乱丁、解答用紙の汚れなどがあった場合は、手を挙げ
て監督者に知らせること。
- 3 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を算用数字で記入すること。
氏名を書いてはいけない。
- 4 解答は、指定された解答用紙に記入すること。
指定された解答用紙の所定欄以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としない。
- 5 配付された試験問題および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ること。

次の文章を読み、設問に答えなさい。

著作物引用箇所のため非公開

著作物引用箇所のため非公開

藤田正勝『日本文化をよむ 5つのキーワード』(岩波新書、二〇一七年)より

出題の必要により、引用文は一部書き改めたところがある。

問一 傍線部「文化の出会いがもつ意味」について、著者はどのようなものであると考えていますか。
二〇〇字以内でまとめてください。

問二 「文化の出会いがもつ意味」について、あなたはどのように考えますか。著者の考えを踏まえたうえで、あなた自身の経験や知識に照らして、八〇〇字以内で論じなさい。

科目
小論文

受験番号

総得点

問一 (二〇〇字以内)

問一
得点

「下書き用紙」

*この用紙は持ち帰ること。

